

# フェロモントラップ利用による リンゴコカクモンハマキ防除適期の把握

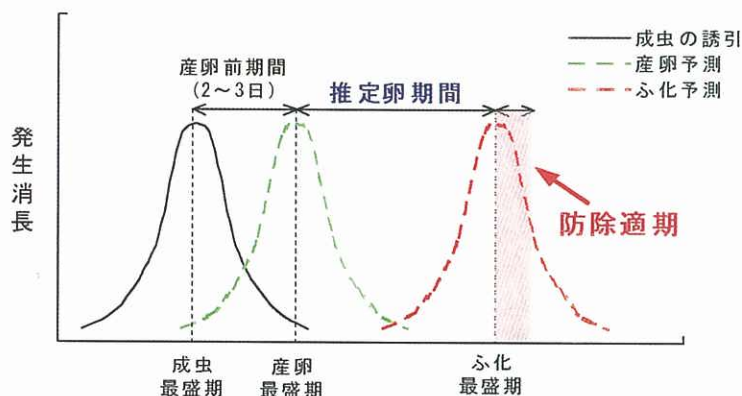
## 研究のねらい

リンゴコカクモンハマキの発生時期は年次や園地によって異なるため、適期に防除するためには、ふ化時期の予察が不可欠である。そこで効率的に防除するため、フェロモントラップによる成虫誘引消長から防除適期を予測する方法を確立する。

## 研究の成果

園内にフェロモントラップを設置し、5月下旬から9月下旬まで毎日の誘引成虫数を調べる。各世代の最も誘引数の多い日を成虫最盛期とみなす。成虫最盛期の2～3日（産卵前期間）後が産卵最盛期となり、これに卵期間を加えるとふ化最盛期を推定できる。防除適期はふ化最盛期からその数日後までである。

## 主要な試験データ



第1図 防除適期の推定方法

第1表 リンゴコカクモンハマキの産卵最盛期からふ化最盛期までの推定卵期間

| 時 期   | 推定卵期間 |       | 時 期   | 推定卵期間 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 平 均   | 幅     |       | 平 均   | 幅     |
| 5 月下旬 | 14日   | 9～18日 | 7 月中旬 | 8 日   | 6～9 日 |
| 6 月上旬 | 12    | 9～14  | 7 月下旬 | 7     | 6～9   |
| 中旬    | 11    | 9～14  | 8 月上旬 | 8     | 6～9   |
| 下旬    | 11    | 8～13  | 8 月中旬 | 8     | 7～10  |

## 発表資料

1. 病虫部昆虫科 (1982). フェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの発生時期把握. 昭和57年度指導奨励事項: 62-63.
2. 白崎将瑛ら (1983). リンゴ害虫の性フェロモン利用 1. フェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの発生調査. 青森りんご試報 20: 31-52.